

## IV. 令和3年度前期 岸和田サテライト開講授業

### 1. 大学院授業科目

授業科目名 (英語表記)	雇用と労働 (Employment system)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	岡田 真理子		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	1日目 4月17日(土) 13:00～17:00		
	2日目 5月1日(土) 13:00～17:00		
	3日目 5月15日(土) 13:00～17:00		
<p><b>【授業の概要・ねらい】</b> 資本主義社会において労働は所得を得る第一の手段であり、労働の多くが雇用労働から成っている。経済学を理解するうえで必要となる労働に関する概念を、雇用に関わる分野を中心に学ぶことを目的とする。</p> <p><b>【授業計画】</b> ※記載の内容は変更することもあります。</p> <p>第1回 1日目(4/17) 労働とは 労働と雇用 予習課題：事前に課される課題について、各回の指示に従って対応すること。 復習課題：各回に課される事後課題について、指示に従って対応すること。</p> <p>第2回 2日目(5/1) 雇用制度の理論 予習課題：事前に課される課題について、各回の指示に従って対応すること。 復習課題：各回に課される事後課題について、指示に従って対応すること。</p> <p>第3回 3日目(5/15) 雇用と労働に関する問題点 まとめ 予習課題：事前に課される課題について、各回の指示に従って対応すること。</p> <p><b>【到達目標】</b> 労働および雇用の概念について、経済学に基づいて理解することができる。 日本の雇用・労働問題について制度的・歴史的観点から理解を深め、問題点について積極的に議論できる。</p> <p><b>【教科書】</b> 特になし。資料は講義中に配布予定。</p> <p><b>【参考書・参考文献】</b> 佐口和郎『雇用システム論』有斐閣 2018年 稲葉振一郎『AI時代の労働の哲学』講談社選書メチエ 2019年 小熊英二『日本社会のしくみ 雇用・教育・福祉の歴史社会学』講談社現代新書 2019年</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b> 事前課題と事後課題があります。成績評価に関わるため、必ず取り組むこと。</p> <p><b>【履修する上で必要な事項】</b> 特になし。</p> <p><b>【授業時間外学修についての指示】</b> 本講義の授業計画に沿って準備学習と復習を行うこと。さらに授業内容に関連する事項の調査・考察を含めて毎回の授業ごとに自主的な学習を求める。</p> <p><b>【その他連絡事項】</b> TeamsおよびMoodleを用いて授業を行う場合があります。 PCおよびネット接続可能な環境を用意してください。</p> <p><b>【成績評価の方法・基準】</b> 各回の事前課題：各10点、計30点 各回の事後課題：各15点、計30点 まとめレポート：40点</p> <p><b>【授業理解を深める方法】</b> ④普遍的な正答や定型的なモデルが存在しない題材に対し、学生自らが合理的な解を導き出す学習</p> <p><b>【履修を推奨する関連科目】</b> 労働経済論、社会政策、社会保障法、憲法、行政法</p> <p><b>【オフィスアワー】</b> メールを用いて連絡をとることができます。 いただいた連絡には2～3日以内に返信します。4日を過ぎても返信が無い場合には、連絡が届いていない可能性がありますので、お手数ですが再度ご連絡ください。 メールアドレス：marikoo@wakayama-u.ac.jp</p>			